

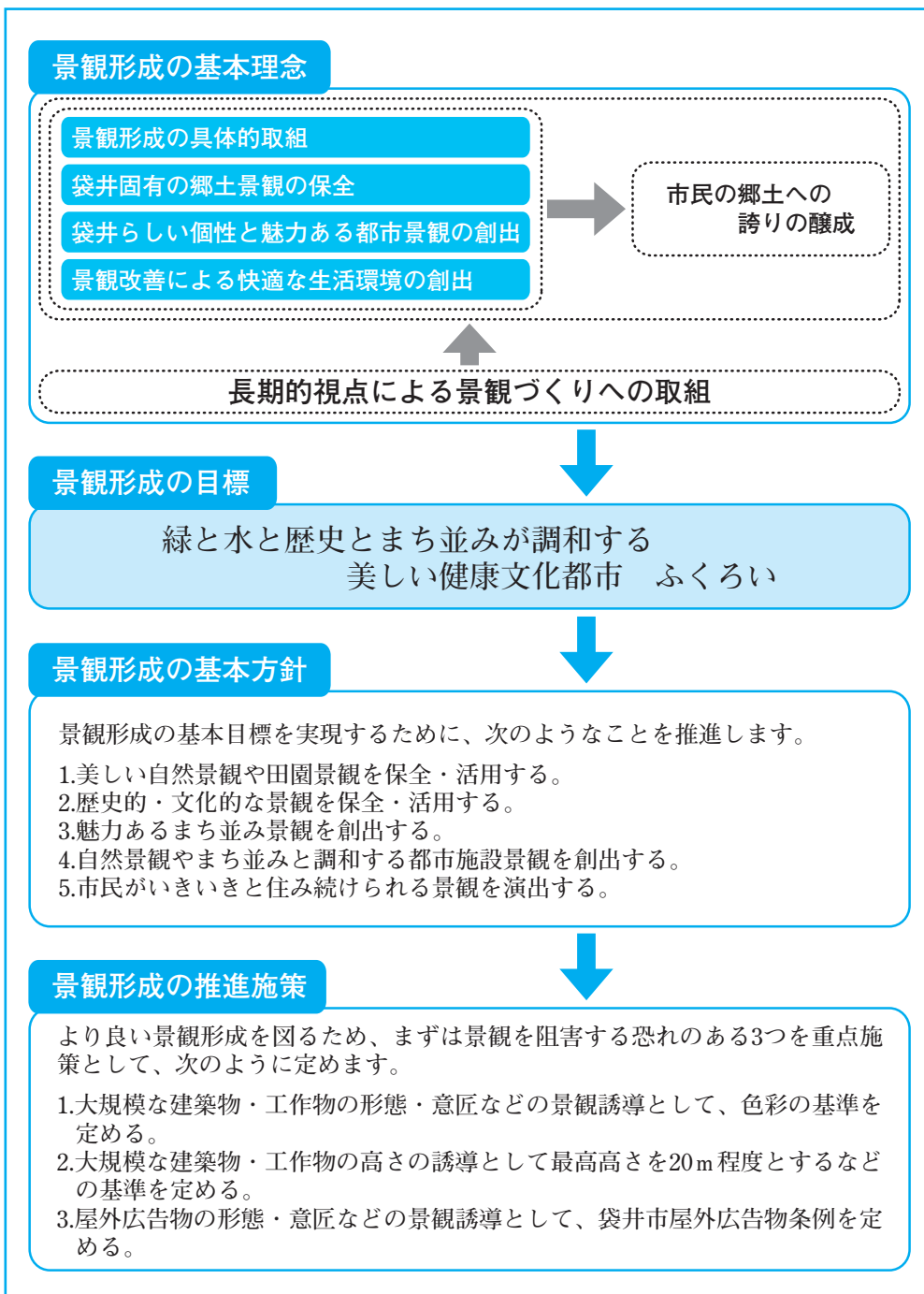
袋井市景観計画の策定に向け 中間報告会を開催しました

袋井市景観計画の策定は、袋井市総合計画や袋井市都市計画マスタープラン、袋井市都市景観デザインコンセプト懇話会の提言などとの整合を図りながら、平成19年度から2か年で進めています。

平成19年度には、現況調査や市民意向調査、景観づくり講演会、美しい景観の募集を実施するなど市民の皆さんの意向を把握しながら策定を進め、中間報告として、説明会を開催しました。説明会には、約150人の方が参加され、多くの意見をいただきました。

計画は、景観形成の理念や目標（下表参照）などを定めています。今後推進施策や具体的な事業の検討を進めていく予定です。

良好な景観形成に取り組むためには、市民・企業・行政が協働して、推進していくことが重要であり、長い期間を継続した事業の推進が求められています。



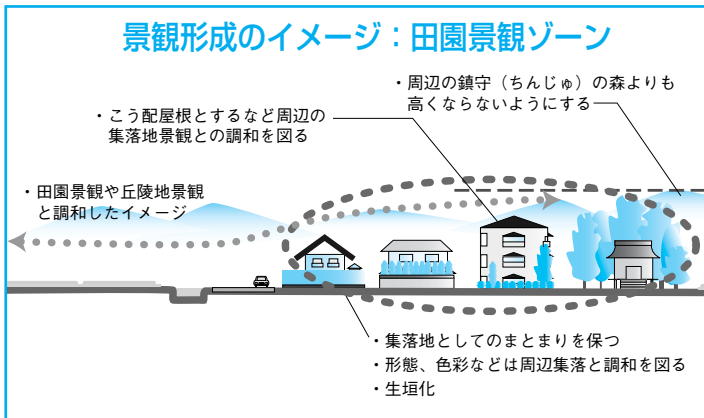
市では、6月24日から7月8日まで市内5公民館で袋井市景観計画策定の説明会を開催し、たくさんの方の意見をいただきました。
今回いただいた意見などを参考に「袋井市景観計画」の策定（平成21年3月予定）を進めていきます。
問 都市計画課計画係 ☎ 44-3122

◇各会場での、皆さんからいただいたご意見の内容を5つの景観形成の基本方針ごとに紹介します。

1 美しい自然景観や田園景観を
保全・活用する

袋井市が日本一健康文化都市を掲げていることを考えて計画してほしい。小笠山のハイキングコースなどは、きれいである。健康と景観をつまぐ組み合わせた施策を行ってほしい。

田園景観が工場などの立地で失われていくので、土地活用をしていく中で開発と保全について考えてほしい。



・小笠山や田園、川などの自然の機能や効果を踏まえて景観的にどうしていくか考えるべきであろう。

・昔は、ホタルがたくさん飛んでいた。ホタルが飛び交うような、自然豊かな景観づくりをしてほしい。

・水車などを作り、昔の田園風景を再現することにより子どもたちの教育に役立ててみてほしい。

2 歴史的・文化的な景観を
保全・活用する

・久野城址は、公園計画もあり、住民が管理をしている。市の中央に位置しているので積極的に活用してほしい。

・鶴松遺跡の看板がなくなってしまった。石の道標がなくなってしまったので守っていく必要がある。

3 魅力あるまち並み景観を
創出する

・大規模な建築物や工作物の高さについて、20メートルで提案されているが、そのように進められているのか。

・工場の周りやまちなかに花を植えて景観づくりをしていくような施策をしてほしい。



・大規模建築物の形態や意匠、色の基準を定めるとしているが、特定の色を統一したまち並みを考えているのか。建築物の壁面緑化も検討していくべきではないか。

・住宅などの周囲と調和しない色彩の建築物の規制はないのか。鉄塔や電柱及び電線は、景観を阻害しているので対応が必要である。

4 自然景観やまち並みと調和する
都市施設景観を創出する

・街路樹の維持などの緑化の推進には、費用と手間が掛かり住民の協力が必要である。

・道路に花壇があり、緑も大切だが、公園整備も含めて維持していくには経費のことも十分に考えていく必要がある。

5 市民がいきいきと住み
続けられる景観を演出する

・JR袋井駅前の中心商店街の衰退が進んでおり、にぎわいが見られない。

・マキの木は旧袋井市の木であるのに活用方法が記載されていない。これを生かした取り組みを進めるべきではないか。

・ごみの回収日には、青いネットをかけてごみが集められている。地域の景観を阻害する要因となっているので計画に追加してほしい。

・河川の堤防には、背丈の高い草や竹が生えている。そこに不法投棄をされるなどの事態が起こり景観に良くないので検討してほしい。ごみを平気で捨てる人がいる。市民の意識向上を図るよう、施策を展開してほしい。

◇ご意見の内容について詳しくは、市ホームページ (<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>) をご覧ください。

今後の予定

計画の原案を策定し、パブリックコメントを実施するとともに、袋井市都市計画審議会や市議会などへ報告して、平成21年3月には、計画を策定する予定です。